

# J A いしかり

2017  
8月号  
Vol.342



特集

白熱!!キラリと光る汗!!  
夏のスポーツ特集

特別企画

青果物生産販売の向かうべき方向—後編—

札幌ホクレン青果 × J A いしかり  
高橋守代表取締役社長 × 中村武史代表理事組合長



『スペシャル対談』の後編をご紹介します。

札幌ホクレン青果  
高橋守 代表取締役社長JAいしかり  
中村武史 代表理事組合長地域農業の現状  
特に青果物について

【札幌ホクレン青果株式会社 高橋守代表取締役社長(以下社長)】

例えば加工用途比率の高いキャベツですが、昨年の高値は確かに北海道産の生産量の不足や府県産の出回りの遅れなど、全国的に作況が悪かったことも勿論あるのですが、実はもっと前から高値の要因はありました。

昨年4月に熊本地震がありましたが、実はキャベツの契約栽培が多い県で、地震のために供給が出来ず需給バランスが崩れてしまったところに、北海道や府県のアクシデントが重なり大きな相場の上ねりになりました。特に業務用分野は相場の立ち方が今までと少しずつ変わってきていて、加工を含めた高値のスパイラルに入ったというのが昨年のキャベツの市況でした。

玉ねぎも同じで、昨年あれだけ北見地区が台風の影響を受けたにもかかわらず、被害は全体の数パーセントで、実は史上最高の収穫量、大豊作だったのです。出荷調整も覚悟していたところ、業務加工に上手くはまり、さらに輸出があり、相場が崩れるピーク時に上手くコントロールした結果、史上最高の数量を売り切りました。年明けになってこんなに相場が上がるとは、何十年も玉ねぎを扱っている専門業者でさえ想像しませんでした。

これは真に加工業務の裾野の広がりであり、正確な情報を集め、それを見誤らずに販売戦略に取り入れるのが重要という事を、昨年の玉ねぎが証明したと思います。販売環境が厳しいとなればJAに品物が集まり、結果として需給コントロールが出来ます。キャベツや玉ねぎなど業務加工の比率が高い品目ほど、今後は情報を正確に収集し、的確な対応が必要だと思います。

【石狩市農業協同組合 中村武史 代表理事組合長(以下組合長)】

昨年のあの豊作の玉ねぎをよく売り切ったなど改めて感じました。当JAも人參の産地として、豊作時は需給調整のため、ホクレンから出荷調整の号令がかかり、圃場廃棄したことが度々ありました。あれは非常に辛いことで、畑が人參で真っ赤になった光景は今でも鮮明に覚えています。

【社長】

当時は人參や玉ねぎなど色々な品目が出荷調整して市場に出回る量を減らして相場を立て直すことをやりましたが、今は目の前の出荷量が多いとか少ないとかではなく、すでに各段階での仕事は済んでいますので、相場が安いからといって明日の出荷量を少なくしても相場は変わりません。昔のような委託販売ではなく予約相対を中心とした商売に軸足を置かないとスーパーや量販店は買ってくれま



せん。

また、昔と今では業務加工筋の物量の吸い込み方というのが全然違います。玉ねぎの輸入量は中国を中心に昨年も平年と同じ二十万トン後半入っています。むき玉ですの原料換算すると約一・四倍の四十万トン程の量が国内に入っている計算です。さらに北海道であれだけの収穫量をきちんと売り切れたというのは、今までの販売感覚では本当に不思議です。

【組合長】

元々ホクレン青果さんは予約相対が得意で、売り場に荷物は少なくても、実際はかなりの荷物が既に動いていました。やはり価格がはじめから決められていると安心して作付出来ますからね。

【社長】

卸売市場法が改正される見込みです。今規制されている項目で合理性に欠けるものについては撤廃されそうです。委託販売という姿は残ると思いますが、営業エリアに関しては、今までの地域内に限



# 青果物生産販売の向かうべき方向 -後編-

らず全国に向け幅広く販売エリアが拡大すると思います。昨年秋、政府の規制改革推進会議において、卸売市場があるから国民は高いものを買わされているなどと間違った認識で議論がありました。その後、そうではないということが理解頂けたようです。今後卸売市場法が改正される中では、待ちの姿勢から積極的に行動し、自分たちの仕事・商売をしっかりと生産者の皆さんに伝え、計画的に生産して頂けるように日々取り組んでいきたいと思っています。

## 【組合長】

まさに生産者と消費者の橋渡し役ですね。その辺のマッチングをいかに上手く進めていくかということが今後益々卸売市場に求められていくのですね。



## 【社長】

まさしく今世の中の仕事の仕方も変わり自分たちも変わらないうと、規制が無くなった時に今度は逆に自分たちが世の中に残れなくなると思います。

## JAいしかりに対する今後の要望や期待など

### 【社長】

道内でも有数の野菜産地であるJAいしかりさんが、産地化という部分で、札幌市に隣接しているという地の利をもっと活かして頂ければと思います。収穫した作物が労働に見合った対価としてお金に変わりますが、手間の掛け方ひとつで結果が変わると思います。手間を掛けた分だけきちんと売上げに結び付き所得に繋がる場面は以前より随分増えてきていると思います。

### 【組合長】

石狩市内にはホクレン青果さんのパッケージセンターがあります。同じ市内にあるJAとして何か新たな取り組みと一緒に出来ないだろうかと以前から考えていたのですが。

### 【社長】

本年6月1日に、石狩湾新港にあるパッケージセンターを「北海道青果サービス」というホクレン青果100%の子会社にしました。卸売市場は自由な世界に見えますが、規制や決まり事が多く、特に行政の規制が厳しいので、目の前にお客様がいても時にはその規制で売れないという課題があります。そういう場面でも対応出来るように、且つ、しっかりとチャンス逃がさない商売をしたいとい

う思いから子会社にしました。

特に同じ市内ですから、鮮度を保ったまま工場に持ち込んで頂き、新鮮さをアピールした石狩産野菜で商品を作れば、地の利を活かした商品作りが可能だと思います。JAいしかりさんで困っている部分やお手伝い出来ることがあれば是非させて頂きたいですし、そういう風にご利用頂けることが一番です。

### 【組合長】

一部の地域では生産者の高齢化と後継者不足により今耕作している生産者がリタイアした場合、その土地を借りて耕作してくれる生産者を探すのに苦労しています。そういう地域には新規就農者を受け入れ、戦略的にターゲットを絞った施設園芸団地を形成出来ればと考えております。現在、石狩市農業総合支援センターに新規就農の相談に来る方も多く、北海道の担い手センターにも多くの問い合わせがあると聞いていますので、新しい都市近郊型の農業振興を目指したいと考えています。

### 【社長】

いずれにしても、JAいしかりさんとは長い取引の歴史もあり、先程言った「北海道青果サービス」から一番近い産地として、業務用野菜を中心に上手く活用して頂きながら、お互い先を見据えた商売をしていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いします。

### 【組合長】

こちらこそ、お忙しい中このようなお時間を作って頂き大変感謝しております。有意義な意見交換が出来、本日のご意見ご要望をこれから青果物販売の向かうべき方向とすべく内部で協議を重ね、市場の皆さんから信頼される産地を目指しますので、今後とも末永いお付き合いの程宜しくお願い致します。本日は誠にありがとうございます。





# 夏のスポーツ特集!!

1

## JAいしかり杯 石狩市夏季少年野球大会に協賛



7月15日～17日の3日間にわたり、石狩市内の7チームが参加し、花川南公園グラウンド及びスポーツ広場で行われた石狩市夏季少年野球大会にJAいしかりが今季より協賛しました。

これは、「食と農でつながるサポーター550万人づくり」の一環として行ったもので、地場産米ななつぼし「加夢加夢」やJAオリジナル商品「春恋ラーメン」を参加チームに贈呈しました。

表彰式では中村武史代表理事組合長が優勝旗贈呈を行い、氏家暢常務理事が各チームに副賞を手渡しして健闘を称えました。

また、贈呈に合わせ、食育パンフレットの配布とアンケートを実施し、JAへの理解向上とサポーターづくりに取り組みました。

受賞した優勝チームの父母の皆さんは「キャンプや合宿でいただきました！」と大変喜んでいました。



2

## 青年部ソフトボール大会開催



6月15日、石狩市はまなす国体記念スポーツ広場にて第43回石狩地区農協青年部ソフトボール大会が開催されました。今回はJAいしかりが地区準備担当で、前日から当青年部員が中心となって準備を行いました。当日は残念ながら小雨模様となりましたが、当JA青年部員の池端優さんが雨を吹き飛ばす様にさわやかな選手宣誓を行いました。

試合開始前には中村武史代表理事組合長が始球式を行い、その後単協チームと各青年部混合チームのブロックに分かれ試合を行いました。当JAは残念ながらチームが作れず、混合チームとして4名が出場し、皆はつらつとしたプレーでソフトボールを楽しむと共に、他JA青年部員との交流も深めていました。

5時間の熱戦が繰り広げられたリーグ戦を制したのはJA新しのつ青年部有志チームでした。また、敢闘選手賞として当JA青年部から池端優さんが選出されました。前日準備や当日の運営、後片付けなどに参加された青年部員の皆様、大変お疲れ様でした。





3

JAいしかりのサポーターをもっと増やしたい!!



今年度の事業目標である、『食と農を通じて北海道550万人と「つながり」を実現』するため、その一環として、「食べるサポーター」と「利用するサポーター」に焦点を当て、石狩市民が参加するスポーツ大会を通じて農協の事業などを知ってもらうことを目的として大会に協賛しています。6月11日、シーサイドみなるパークゴルフ場で45名参加のもと石狩市パークゴルフ協会主催の大会が開催されました。当協会では、年3回大会が行われており、多くの市民が参加しています。

開会式では、石狩パークゴルフ協会会長の小林正夫氏より、今大会での当JAによる協賛の趣旨説明をした後、地物市場「とれのさと」の知名度アップと利用向上を図るために「とれのさと商品券」を賞品として提供しました。

大変和やかな雰囲気の中、朝からの雨も上がり熱戦が繰り広げられ、好成績の表彰式となり、受賞者は大変喜んでいました。

4

新生野球部の夏☆ 熱く・爽やかに・大健闘!!

7月8日〜9日、第59回石狩管内JA野球大会が開催されました。

当日は非常に日差しが強く、熱中症が心配されるほどの気温でしたが、暑さに負けず全員が一丸となって初戦のJA新しのつ戦へと臨みました。初回到2点を先制されましたが、成田監督をはじめ全員が積極果敢なプレーで、3回には千田職員がホームランを、6回には梶職員がランニングホームランを放つなど非常に白熱した一戦となりました。手に汗握る試合展開の好ゲームで、最終的には7対4で見事に勝利を収め、翌日の準決勝へと駒を進めました。

準決勝では優勝したJA道央との対戦となり、結果としては0対7で敗れてしまいましたが、全員が全力を出し切った良い試合となりました。

最後に表彰式が行われ、当JAは第3位、また千田職員が敢闘賞を受賞しました。

尚、猛暑の中応援に来て下さった方にはこの場を借りて野球部一同より厚くお礼申し上げます。





## 1 青年部が小清水町の麦を視察

6月20日～21日、斜里郡小清水町へJA青年部が視察研修を行い、11名の部員が参加しました。

当JAの麦の平均反収は、10a当り500kg程ですが、今回視察先の小清水町の新和農場は作付面積8.32haで、10a当たり1トンの収穫高を誇っており、当JAの約2倍となっています。

平成27年には全国麦作共励会で農林水産大臣賞を受賞しており、また過去に1トン超えの収量や賞を受賞された方も周囲に居られるとのことで石狩農業改良普及センターに紹介を頂き、この度の訪問となりました。

石狩を出発して6時間ほど車を走らせた後、JAこしみず販売部農産課課長小西圭吾氏と同農産係佐藤大樹氏の案内で現地に赴くと、そこには大きくそして美しく成長している小麦の姿がありました。圃場を管理所有している新和農場の新村正敏氏は「土づくりを徹底しており、土壌診断を活用した堆肥や追肥による土壌改良、全圃場への心土破砕の施行による排水・根張り改善、また土壌条件により砕土回数を変え出芽率の向上を図っています。時には手で施肥を行うこともあり、土づくりに関しては余念がないです」と熱くお話頂きました。

オホーツク海からの冷涼な風と斜里岳由来の火山灰土質、長く暖かな日差しやなだらかで圃場を一望しややすい丘陵地形など自然の恵みを一身に受け、且つ徹底された圃場の改良によってこれほどの収穫高を誇るのだと一同感心しました。

また経営面でも積極的な改善を図っており、法人化による管理の効率化と経営の近代化、省力化のために機械の改造を行うなど相当な努力をしている様子が伺えました。

その後、小清水町農協米麦乾燥センターの見学も行い、小麦の面積だけで約2400haを誇る小清水町の米麦乾燥センターでは、1日の受入量が約2千トン、製品貯蔵能力に関して約2万トンとスケールの大きさが際立っていました。

参加した青年部員も積極的に圃場の見学や質問などを行い、大変参考になった様子でした。今回学んだことを生かし、来年度以降の麦の収量増加に繋がることを期待しています。



## 2 女性部が視察研修に行ってきました!

6月15日～16日、1泊2日の日程でJA女性部が函館方面への視察研修を開催し、13名の部員が参加しました。

当日はあいにくの雨模様ではありましたが、参加者は本業が忙しい時期の外出ということもあり気分転換になったようでした。

初日は、石狩を出発した後、昼食のためハーベスト八雲へ立ち寄り、続いてカールレーモン本社工場を見学し、金森倉庫で自由散策、宿泊先の「平成館しおさい亭」へと向かいました。温泉につかり、美味しい料理に舌鼓を打ち、部員一同親睦を深め楽しい一時を過ごしました。

2日目は、わずかな時間でしたが北斗駅に立ち寄り新幹線を見ることが出来ました。その後、今回メインの視察先であるJA新はこだてのファーマーズマーケット「あぐりへい屋」へ向かいました。新函館農業協同組合大野基幹支店東前事業所所長島田貴光氏より概要の説明を頂いた後、店内を見学し、今後の活動の参考に地元加工品や石狩では時期的にまだ収穫出来ない野菜を袋いっぱい買いました。大沼国立公園では遊覧船に乗り、昼食を戴いた後、ラッキーピエロ峠下総本店に立ち寄り、無事帰途につきました。

参加者からは、「盛り沢山な内容でとても充実していて楽しかった。」という感想が聞かれ、大変有意義な研修となったようです。





## 3

## 米麦振興会視察研修

6月23日、米麦振興会が視察研修を開催し、18名の会員が参加しました。

快晴に恵まれ、ベジタブルファクトリー裏の試験圃場（麦）に始まり、小麦基準圃場（横山忠昭さんくきたほなみ）、水稲飼料米圃場（熊倉守さんくそらゆたか）を現地視察し、石狩農業改良普及センター係長山口一也氏と専門普及指導員の佐々木忍氏から生育状況の説明を受けた後、最終目的地であるホクレン農業総合研究所（長沼研究農場）に到着しました。長沼研究農場畑作物開発課長の川口武泰氏より概要と春まき小麦の新品種に関する研究を説明頂き、試験圃場にて様々な春まき小麦の栽培状況を視察しました。参加者は真剣に耳を傾け、また熱心な質問も多数飛び交い非常に有意義な時間となりました。全日程終了後、サンポロビール園にて懇親会を行い和気あいあいとした雰囲気の中で、本年度の水稲・小麦が豊穣であることを願い視察研修が終了しました。



## 4

## ミニトマト視察研修

6月21日、

高岡施設園芸生産組合がミニトマトの先進地視察研修を開催し、10名の会員が参加しました。

今回は、JA苫前と留萌農業改良普及センターにご協力頂き、当生産組合が試験栽培中である

キャロルスターを既に栽培している生産者の苫前町岩見の花井秀昭氏と苫前町九重の（株）アース代表成田晃氏の二カ所の圃場を視察させていただきました。

両圃場とも栽培方法はまだ確立されておらず、試行錯誤中とのことでした。キャロルスターは玉揃いや収量などは確かにキャロル10よりも良く有望な品種なのですが、元肥を抑えないと樹が暴れて大変なことになるという難しい品種でもあります。

苫前町においても、当地区同様イエスグリーン登録をしていますが、キャロルスターという品種はイエスクリーンの肥培管理基準に満たないため、イエスクリーンとしての販売が出来ないという別の一面もあるようでした。

参加者は、自分たちのやり方と見比べながら、活発な意見交換を行い、大変有意義な研修となりました。



## 5

ブロッコリー部会  
視察研修開催

6月24日、ブロッコリー部会が視察研修を開催し、10名が参加しました。今回は、全道一の作付面積を誇り、当JAと流通事情などが似ているJA道央（野幌）のブロッコリー共撰施設と作付圃場を視察しました。

JA道央の担当者よりブロッコリーの受入から撰別・発泡氷詰め作業の流れの説明を受けた後、施設内を見学させて頂きました。その後、ブロッコリー作付圃場を視察させて頂くことが出来、現場で実際に収穫されている様子を見ながら、参加者から様々な質問が続き、大変有意義な研修となりました。



## 6

さやえんどう部会  
視察研修開催

6月22日、さやえんどう部会が14名の会員が参加のもと、JAようてい喜茂別地区のさやえんどう圃場を視察してきました。

今年から部会で新たに組み組んでいる赤花の品種が栽培されている圃場で、生育状況や栽培管理についての説明を受けました。その後、収穫間近のさやえんどうを見ながら、参加者からは栽培管理について多くの質問があり、大変良い勉強の機会となりました。

今年は、生産者が減ったため栽培面積が昨年よりも減少しましたが、更なる栽培技術の向上と収量増を目指し生産量の減少が最小限にとどまるよう努力を続けていきます。



7

## GPSガイダンスシステムRTK説明会・実証実験開催

6月26日～27日の2日間、ホクレン札幌支所主催による低コストRTK—GPS説明会が開催されました。

26日は、本店大会議室にてGPSガイダンスシステム・RTKの概要についての説明があり、翌27日には実証実験がベジタブルファクトリー横駐車場にて行われました。



GPSガイダンスシステムとは、GPSによりトラクターの正確な位置を測定してリアルタイムにモニターに表示し、農作業を行う際の走行経路をガイドする、言い換えれば「農作業用カーナビ」とも言えるシステムで、効率的な運行や夜間の運転に効果を発揮します。今回はGPSの信号だけでは測位に数十センチの誤差が生じるため、40km程離れた長沼にあるRTK方式基地局を利用することにより、測位の誤差を2～3cm程に修正することができますかどうかという実証実験が行われました。また、デモンストレーションとしてトラクター側に自動操舵補助装置をセットし、それらの情報を受信した中で、畝とぼし、10cmの掛け合わせが行われました。

このシステムは、自動操舵のため旋回時以外の直進作業中は、手放し状態でも安定的に直進し、自動的に作業位置を合わせるため、ハンドル操作への集中を大幅に軽減するというメリットが有り、オペレーター経験が浅い方や、今まで不安があつて運転できなかった方でも、熟練者と同じ精度で作業が可能です。今後も長沼基地局情報の有効範囲について実証実験を行う予定であり、その結果につきましても改めて皆様にご報告致します。





## 8

農業の素晴らしさを実感!!  
新人職員が農業体験

6月12日～13日、大村喜紀理事の花卉園で新人職員農業現地研修を行いました。

これは新人育成の一環として農業への理解を深める事を目的として行っており、今回は、新人職員の女性2名が体験参加しました。

金融課藤井職員は『店先に並んでいるお花しか見たことが無かったので、実際に体験してみないと分からないことが多く、一輪の花を大きくするために、既に出来ている蕾を間引くなど、商品になるまでの課程や苦勞を、やってみて初めて知ることが出来、作業は大変でしたが良い経験でした。大村さんから「人の手に渡って喜んでくれることが嬉しい。」と聞き、相手のことを思いやるという部分で自分の仕事と重なり、窓口でお客さまと接して満足して頂くという点で通じるものがあると思いました。2日間という短い時間でしたが、苦勞を知れた分だけカーネーションが輝いて美しく見えました。』と、共済課永岡職員は『農業を全く知らず、初めての農業体験でしたが、自分の想像以上に力仕事で、多くの時間と手間を掛けて商品になっていくということを知りました。思っていた以上に大変だなあと農業に対する見方が変わりました。農協職員として、こういった経験が出来て良かったと本当に思います。カーネーションも色とりどりでとっても綺麗でした。通りすがりに農作業している方を見かけると、本当に頑張っているんだなと体験前よりも身にしみて一層実感を持つて思えるようになりました。』と貴重な経験が出来たようで、今後の業務はもちろん、人生においても非常に大きな糧となっていくことでしょう。

ご協力頂いた組合員の皆様、誠にありがとうございます。



## 9

## 各共撰始まる!!

6月7日、ブロッコリー共撰受入が開始され、発泡水詰め作業が9日から始まりました。昨年よりも2日早い受入開始となり、生産者も1名増の41名で作付面積は約100haとなりました。共撰受入・出荷は10月下旬まで主に石川県金沢市場に出荷される予定となっており、販売金額は、3億3,500万円を計画しています。

また、6月28日からミニトマト共撰が開始されました。

6月は低温で日照不足傾向だったため生育も停滞気味で心配されましたが、昨年とほぼ同じ時期の共撰開始となりました。今年は高岡地区に新規就農した佐々木敬仁氏が新たに増え、共撰出荷者は10名となり合計104棟のハウスで栽培されています。共撰出荷は11月上旬まで道外市場及び札幌市場に出荷される予定になっており、販売金額は1億1,500万円を計画しています。

6月30日からは、さやえんどう・スナップえんどう共撰も開始されました。5・6月の天候不良による生育の遅れが心配されていましたが、昨年とほぼ同じ時期に共撰が開始となり、10月下旬までの出荷予定です。さやえんどうの出荷先は他の作物に比べて多く、道内・道外合わせて20市場に出荷されています。生産者は16名で、作付面積は昨年より減り約11haとなりましたが、販売金額は1億3,500万円を計画しています。





## 今月の表紙紹介

### ～撮影オフショット～

今月の表紙は、そ菜園芸振興会ブ  
ロッコリー部会部会長の成田和彦  
さんご夫妻と長男の和広さんです。  
ブロッコリーの生育や収穫作業は  
順調で、最盛期を迎えております。



▲ 後継者として5年目。  
ホヤホヤの新婚さんです。



▲ 爽やかな笑顔がそっくりですね☆



▲ 結婚31周年♡  
真におしどり夫婦♡



▲ 親子で力を合わせて頑張っています!!



▲ 明るく元気いっぱい☆  
ムードメーカーの美智子さん。

## 職員の動き

### <退職>

平成29年6月30日付  
平成29年7月21日付

経済部資材課資材係 本間 伸一  
金融共済部金融課金融係(花畔支店) 池田 眞帆

この度、6月30日をもって石狩市農業協同組合を退職いたしました。  
昭和53年3月1日花畔農協へ入組以来40年余りの長い間公私ともに大変  
お世話になり今日まで大過なく勤務できましたことは、ひとえに皆様のご指  
導とご厚情の賜と心より厚くお礼申し上げます。  
今後の組合員様のご健勝とご活躍を祈願し退職の報告といたします。

本間 伸一



このたび一身上の都合により、7月21日をもって石狩市農業協同組合  
を退職致しました。  
顧みますと5年余りの永きにわたり勤めることができましたのは一重に皆様  
方の暖かいご指導とご厚情によるものと心より深く感謝いたしております。  
折々の出会いや温かいお心遣いはいつまでも忘れることは出来ません。誠に  
ありがとうございました。  
末筆になりましたが皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、御礼のご挨拶  
とさせていただきます。

池田 眞帆





## 理事会だより

第5回定例理事会 ～平成29年6月16日(金)～

### ◆ 報告事項 ◆

- ① 営農経済委員会報告
- ② 農産物作付状況及び出荷状況について
- ③ JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料報告・財務モニタリング」について
- ④ JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- ⑤ 内部審査結果報告について
- ⑥ ディスクロージャー誌について
- ⑦ 低温農業倉庫機器入替に係わる指名入札結果について
- ⑧ 農業委員会総会について
- ⑨ その他

### ◆ 審議事項 ◆

- ① 第1四半期自治監査結果について
- ② 貸付金の申込み査定について
- ③ 財務管理規程の一部変更について
- ④ 米麦乾燥調整施設小麦受入に係わる対応について
- ⑤ 農業機械施行単価基準表の改正について
- ⑥ 営農サポート体制(案)について

## 7月のあゆみ

1～8日 4地区JA常務参事会海外研修視察

3～7日 転作・小麦なまぐさ黒穂病現地確認

5～6日 内部審査(共済課)

7日 収入保険制度説明会

8～9日 石狩管内JA野球大会

10日 経営会議

メロン部会全体会議

11日 米麦乾燥調製施設開所式

長芋部会現地検討会

企画会議

食用馬鈴薯部会視察研修

14日 種子馬鈴薯第3期防疫検査

15～17日 JAいしかり杯石狩市夏季少年野球大会

18日 職員採用筆記試験

長芋部会視察研修

19日 定例理事会

21日 さっぽろハーベストランド推進協議会

米麦改良協会総会

31日 石狩地区農協農政対策委員会

石狩地区農協組合長会・学経理事参事合同会議

## おくやみ

大曲中央

北本 弓雄 さん

享年86歳

平成29年6月17日逝去

北生振

渡辺 ミサヲ さん

享年100歳

平成29年7月2日逝去

生振第八

稲垣 洋子 さん

享年85歳

平成29年7月3日逝去

樽川3班

赤山 信子 さん

享年94歳

平成29年7月4日逝去

樽川3班

和佐 正明 さん

享年98歳

平成29年7月5日逝去

謹んでお悔やみ

申し上げます。





## 幸せいっぱい♪ 素敵なお家族紹介

Vol.1

### 美登位地区 山内さん ご家族



### 山内 克彦(かつひこ)さん 光(こう)さん

#### Q. 結婚した日はいつですか?

4年程付き合ってから、結婚しました。  
今年の8月8日で入籍して4年目になります。

#### Q. 初デートや思い出の場所はどこですか?

札幌ドームが思い出?の場所です。  
主人のおかげ(笑)で私も野球好きになりました♪

#### Q. 夫、妻に感謝の一言

♡夫・克彦さんから、妻・光さんへ…  
いつも、家事や手伝いをしてくれてありがとう。  
これからもちょくちょく頼むと思うけど仲良くいましょうね。  
♡妻・光さんから、夫・克彦さんへ…  
いつも家事・子育て手伝ってくれてありがとう。  
これからも旅行や野球観戦にいっぱい行こうね。

### 山内 基生(もとき)くん

平成26年9月4日生まれ 2歳10ヶ月

#### Q. 出産時のエピソードを教えてください。

出産予定日を過ぎても中々生まれず、陣痛が来ても中々生まれず、母子共に体が危なかったのが帝王切開になり出産後とても辛かったです。

#### Q. 基生くんのおもしろエピソードはありますか?

2歳にしては野球観戦慣れしており、選手の名前が少し言えるようになっています♪

#### Q. どんな子に育てて欲しいですか?

大きなケガや病気もせず、元気な子に育ててほしいと願っています。

